

時間的・空間的な多様性を考える（森田豊子）

それでは、早速ではありますが第一部に入らせていただきます。第一部は第1巻から順番に編者のお一方にご登壇いただき、お願いしています。第1巻は「結婚と離婚」と題しまして、森田豊子さんと小野仁美さんが編者をしてくださいました。2019年11月に刊行されました。それでは早速ですが、森田さん、どうぞよろしく願いいたします。

森田：こんにちは。森田と申します。鹿児島からやってきました。コロナ禍からずっと来られなかったので2年半ぶりに東京でこうした会に参加させていただいています。本日はよろしく願いいたします。この『結婚と離婚』という本ですが、最初のきっかけになったのが、第一期の2017年に行われた「イスラーム世界の結婚最前線」というセミナーでした。これはこの科研の第一期の3回目のセミナーでした。研究会の帰りの電車の中で長沢先生とお話をしているところで、「一度地方でセミナーをやってみたい」と長沢先生が仰いました。私は鹿児島に住んでいて、九州のネットワークに入っていて、北九州にある「アジア女性交流研究センター」というところで繋がってしまっていて、そこの人たちと一緒に何かできないかというところで、この企画が始まりました。というのも、イスラームに対するステレオタイプは九州でもありまして、鹿児島大学で「世界のなかのイスラーム」という授業のなかで女性の話をすると、学生たちが偏見を持ってイスラームのことを考えているということがよくわかる状況でした。なので、できれば九州でセミナーをやりたいと思いました。北九州というところは八幡製鉄所があり、歴史的には夫に代わって妻が公害などの様々な問題に立ち向かってきたという土地柄です。ゆえに北九州の女性運動はものすごく活発です。その北九州で生まれた「アジア女性交流研究センター」でイスラームのことについてセミナーをやりたいというところからこの企画が始まりました。そこで、北九州のセンターと合同で、まずは実際にイスラーム世界ではどのように結婚や離婚がなされているのかというところから始めましょう、というところからこの企画は始まりました。会場にいらっしゃる嶺崎さんや、竹村さんが結婚の話をしてくださるということで、まずムスリムの結婚は今どうなっているのかというところからまずお話をいただきました。当日は悪天候でしたが、たくさんの九州の女性が集まってくださってお話がすごく盛り上がりました。それを受けて、イスラーム・ジェンダー・シリーズの第一巻にセミナーでのお話を入れませんかというオファーをいただいてもものすごく嬉しかったです。まず、九州という場所で行ったセミナーをシリーズ本の第一巻にさせていただけるということで、大変有難く光栄だと思っていました。その後、小野さんが大変な力になってくださって、ほぼ二人で一緒にこの本を作っていました。ここですごく大切にされたことは「多様性」という言葉でした。イスラームというものは、誤解されやすいけれども実はとても多様性がある。また、歴史的にすごく変遷があるということをごきちんとお話したかったということで、この第一巻は始まっています。だから、時間的な多様性、空間的な多様性がこの本の中心的な問題点でした。この本は三つに分かれています。第一部は、ムスリムの結婚と離婚に関する基本的な説明で、エジプトを中心にそれ以

外にもシンガポールの異教徒間の結婚についても収録してあります。第二部は、結婚と離婚の基になっているイスラーム法についても元の古典イスラーム法からどんどん変遷している、という歴史的な話を中心になっています。小野さんが、古典イスラーム法での結婚と離婚について書いてくださって、そこから前近代または近代になってから、結婚と離婚に関する家族法がどのように変化したのか、トルコ、イラン、エジプトに関してその家族法について書かれています。小野さんのおかげで、とても有名な歴史学者の方々が参加してくださったので、とてもいいものになったと思っています。第三部は、現代の結婚と離婚の多様性を書きました。インドネシアの結婚が変化していることとか、イランの結婚についてもここに書かれています。ここで言いたいのは、本当に多様な形の結婚があるということ、歴史的にも、空間的にも多様であります。だから、我々は一つずつ、細かく丁寧に見ていかないと判断を見誤ってしまうのではないかというのがこの本の一番のテーマになっています。

工夫したところは、用語集を作成したところです。結婚やイスラーム法に関する用語はなかなか難しく、もとはアラビア語ですが、それぞれの国の言葉で少しずつ発音や意味が異なっているものについてひとつずつ検討しながらたくさん議論を交わしました。ページ数にすれば7ページほどしかありませんが、この部分にはものすごく時間をかけました。これが基本になればいいなと思って作りました。もうひとつは多様性というところで、地理的な多様性を表したいというところで、はじめのページに世界地図を載せています。この本の中で取り上げた地域がわかるような世界地図にしました。幸いなことに、続刊ではずっとこのように世界地図を載せてくださって、それぞれの本でどの国が取り上げられたのかがわかるようになっているので、良かったと思っています。結婚、離婚、ジェンダーのことについても多様です。今、イランの女性たちがものすごく戦っています。イランの女性たちのヴェールや結婚、離婚について多様に変わっていく可能性があるし、変わらない可能性もあるし、いろんなところで政治的なもの、社会的なもの、国によってもどんどん多様なものが出てきます。今、戦っているイランの女性たちにエールを送る形でこの発表を終わらせたいと思います。ありがとうございました。